

令和3年9月29日
桑名市地方創生会議

第2期「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の策定について

市長公室 政策創造課

自治体を巡る環境の変化 ～現状と課題～

持続可能なまちづくり ～課題の複雑化と多様化～

社会保障関係経費の増大
(限られた財源)

人口縮減・少子高齢化
(働き手の縮小)

公共建築物の老朽化
更新需要の到来

新型コロナウイルス感染症の蔓延

行政のデジタル化の遅れ

環境問題の深刻化

激甚化する災害への対応

これまで当然のことと考えられていた認識や思想、価値観が劇的に変化

社会構造の変化に対応した「持続可能なまちづくり」が求められている

第2期「桑名市まち・ひと・しごと総合戦略」の方向性について

1. 桑名市総合計画「後期基本計画」に掲げる施策の反映

「重点プロジェクト」の推進

桑名駅周辺整備、福祉ヴィレッジetc.

「3つのミッション」の推進

防犯・交通安全、道路、公共交通

2. 社会情勢の変化に対応した、まちづくりの支えとなる施策の反映

「3つの柱」の推進

市民の皆様の命を守るための
「防災力の強化」

時代に対応したサービスを
市民の皆様へ提供するための
「スマート自治体への転換」

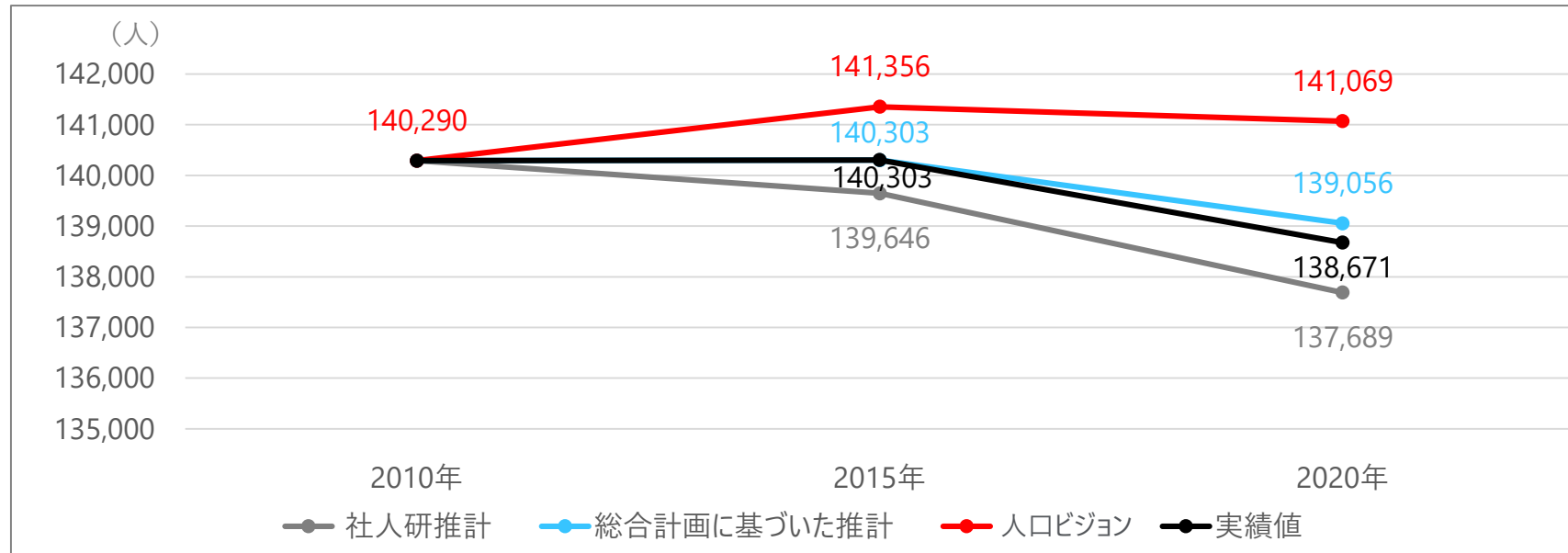
持続可能なまちを
創造していくための
「安定した財政基盤の確立」

脱炭素社会の実現を目指した
グリーン施策の推進

企業版ふるさと納税を活用

人口ビジョンの振り返り(桑名市の総人口の推移)

推計値と実績値の推移は以下のとおりで、実績値は「社人研※」推計を僅かに上回って推移しているが、人口が減少傾向にあることに変わりはない。



各種推計値と実績値	2010年		2015年		2020年	
	値	実績値との差	値	実績値との差	値	実績値との差
「社人研」推計	140,292	+2	139,646	-657	137,689	-982
総合計画に基づいた推計	140,290	0	140,303	0	139,056	+385
人口ビジョン（将来展望推計）	140,290	0	141,356	+1,053	141,069	+2,398
実績値 (国勢調査)	140,290	-	140,303	-	138,671 (速報値)	-

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

第1期総合戦略の振り返り

第1期総合戦略では、新型コロナウイルスという未知の課題の影響を受けた部分はあったものの、KPIの70%以上は順調に推移しており、方向性としては問題ないものと考えられる。

基本目標	基本的方向	内容
	社会背景	人口減少や高齢化の傾向は概ね予想通り進んでいるものの、2020年3月頃からは、新型コロナウイルス感染拡大という大きな社会情勢の変化があった。
Ⅰ 暮らす	「暮らしやすいまち」を創生する	KPI 7 項目のうち 5 項目は、 <u>目標値の80%以上を達成</u> し順調な進捗である。 達成できなかった項目については、新型コロナウイルスの影響を受けたと考えられるものが含まれる。
	「住んでみたいまち」を創生する	KPI 1 項目は、 <u>目標値の80%以上を達成</u> し、順調な推移である。
	「住み続けたいまち」を創生する	KPI 5 項目のうち 4 項目は、 <u>目標値の80%以上を達成</u> し順調な推移である。 達成できなかった項目については、新型コロナウイルスの影響を受けたと考えられる。
	「働きやすいまち」を創生する	KPI 6 項目のうち 3 項目は、 <u>目標値の80%以上を達成</u> し順調な推移である。 達成できなかった項目については、新型コロナウイルスの影響を受けたと考えられるものや、自然環境の変化を受けたと考えられるものが含まれる。
Ⅱ ウィンバ	「魅了するまち」を創生する	KPI 4 項目のうち 3 項目は、 <u>目標値の80%以上を達成</u> し順調な進捗である。
	「国際力豊かなまち」を創生する	KPI 2 項目は、 <u>目標値の80%以上を達成</u> し、順調な推移である。

第2期総合戦略の改定方針

戦略のフレーム（人口の見通し・基本目標や取り組み方向）は変更せず、KPIは総合計画後期基本計画を鑑みながら、実態に合わせて変更していく。

現行戦略の総括

人口推移

- 桑名市の2020年時点の総人口は、傾向としては減少の推移を示しているが、社人研による推計値よりもやや上回っている。

KPIの達成状況

- KPIは概ね目標値の80%以上を達成している。
- 新型コロナウイルスの影響により、六華苑利用者数等の一部の指標で大きく目標を下回っているものがある。

時代潮流の変化・国県の動向

- 国・県において「第2期総合戦略」が示され、
- 第1期の取り組みを踏まえて、関係人口やSDG s などの新たな視点を加えて地方創生に取り組む旨が記載されている。

改訂にあたって留意すべき点

総合戦略の改定方針

基本フレームの維持

- 現行計画が概ね堅調に進んでいることから、第2期総合戦略においても、現行戦略のフレーム（基本目標、取り組み方向等）を維持する。

新たな時代潮流への対応

- 現行計画の枠組みを維持しながら、SDG s、DX、脱炭素、防災力強化や新型コロナウイルスの影響など、新たな時代の潮流について対応を図っていく。

KPIの再設定

- 現行計画のKPIの達成状況を踏まえて、指標については総合計画後期基本計画と整合を図り、目標値については見直しを行うなど、KPIを再設定する。